

# 動画作成マニュアル

# 事前準備

---

## 1. 下記いずれかのバージョンのPowerPointを搭載しているPC

- ・ Windows : PowerPoint 2010, 2013, 2016, 2019, Office365のいずれか
  - ・ Mac : PowerPoint for Mac 2019, Office365のどちらか
- ※PowerPoint for Mac は 2019より前のバージョンは非対応です。

## 2. マイク(音声入力ができる環境)

内蔵マイクでの録音も可能ですが、周囲の音声（ノイズ）も録音されてしまうため、ヘッドセットマイクなど、外付けマイクの使用を推奨します。


## 3. 動画に利用する PowerPoint データをご確認ください

### 《 留意事項 》

- ・ スライド枚数に制限はございません。
- ・ 事前にご案内した時間での動画作成にご協力をお願いします。
- ・ タイトルスライドの次（2頁目）に、必ずCOI開示スライドがあることをご確認ください。
- ・ ご提出動画はそのまま利用させていただきます。

ご提出前に、必ず演者の先生ご自身でも動画をテスト再生いただき、音声・スライド内動画の再生 確認やCOI開示に漏れがないかご確認をお願いいたします。

# 機器の準備-マイクの確認方法（Windows）

1. タスクバーの  Windowsアイコンを右クリックします
  2. [システム] をクリックします
  3. [サウンド] をクリックします
  4. 音声を発してみてマイクが正常に音声を拾えている場合は、マイクのテストの箇所に動きがあります
- ※ここに動きがない場合は、入力デバイスを変更してみてください
5. マスター音量を適宜変更してください（規定値より少し大きめがお勧めです）



# 機器の準備-マイクの確認方法（Mac）

1. Macでアップルメニュー から [システム環境設定] を選択します
2. [セキュリティとプライバシー] をクリック、 [プライバシー] をクリックします
3. [マイク] を選択します
4. アプリケーションの横のチェックボックスを選択すると、マイクへのアクセスが許可されます

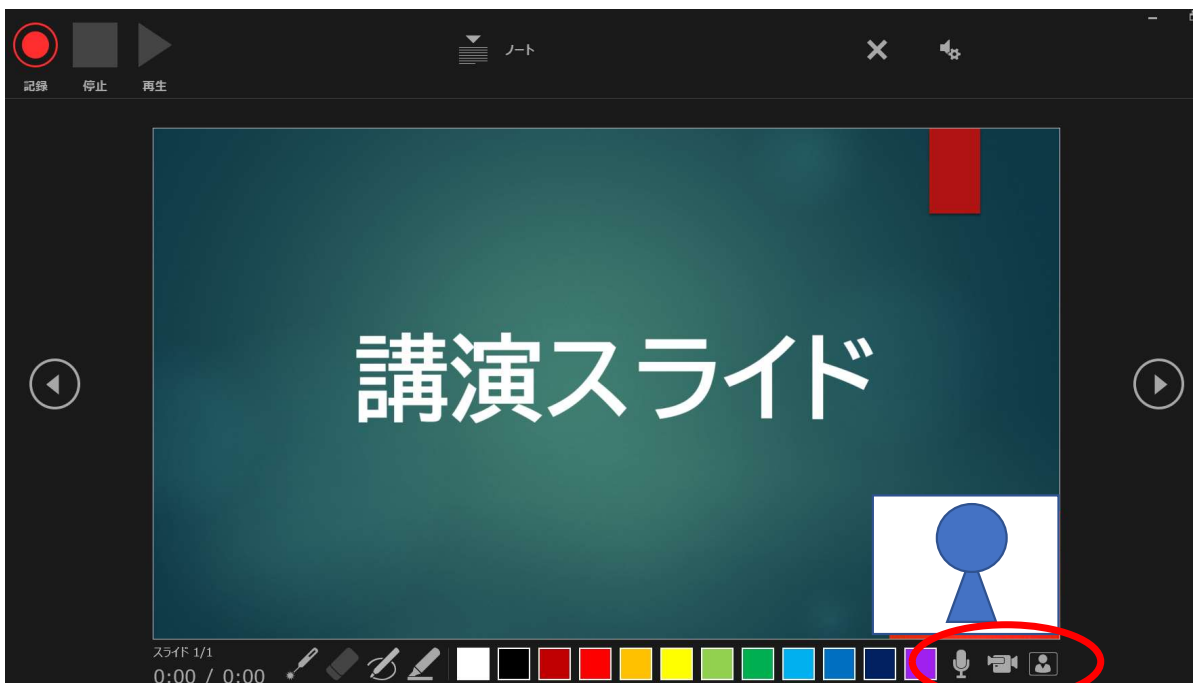
※こちらにチェックが入ってないと、録音はされません



5. システム環境設定内の [サウンド] をクリックし、 [入力] タブを選択します
  6. 音声を発して見て、マイクが正常に音声を拾えている場合は、入力レベルの箇所動きがあります
- ※ここに動きがない場合は、入力する装置を変更してみてください  
(内蔵マイクがある場合は、通常それを選択すれば問題ありません)

# 機器の準備-カメラの設定

- ・ スライドショーの記録の際に、内蔵、または接続されているカメラがある場合は、有効・無効の切り替えができます
- ・ スライドに演者の映像を入れてスライドショーが作成できます

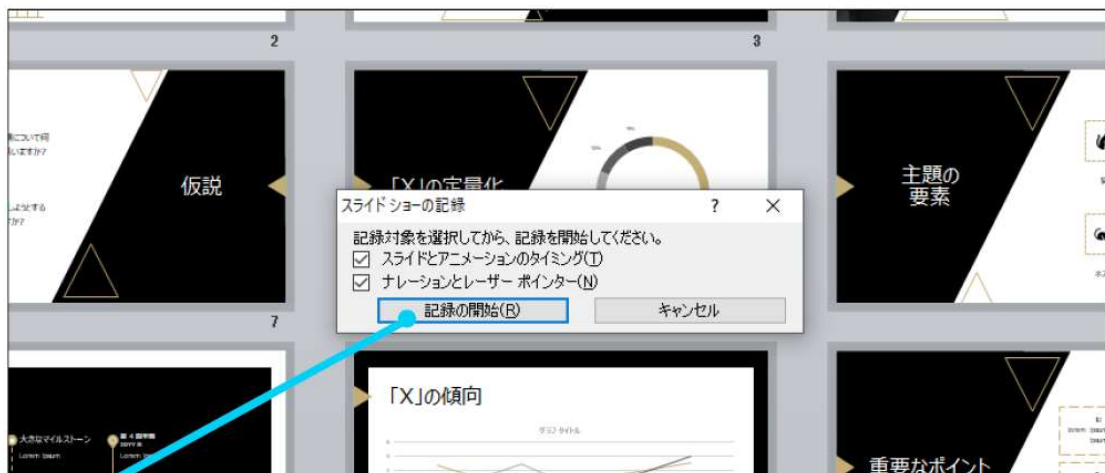


こちらのボタンでカメラの有効・無効の切り替えができます。



# PowerPoint2010で録音する方法 ( 1/3 )

- ・ ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください
- ・ マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください



# PowerPoint2010で録音する方法 ( 2/3 )

5

左上の記録中を確認し、  
プレゼンテーションを進める



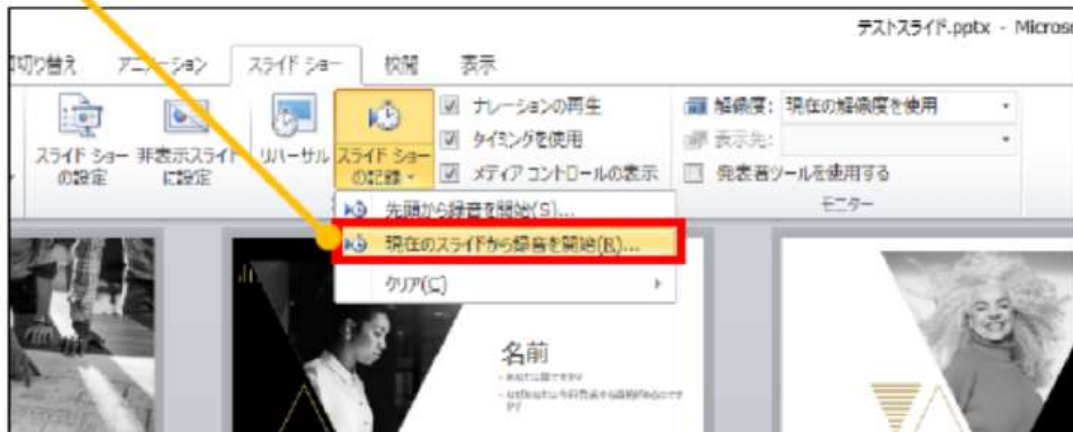
6

スライドショーを最後まで進めて終了して、  
スライド一覧表示にしてみただき、  
各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します

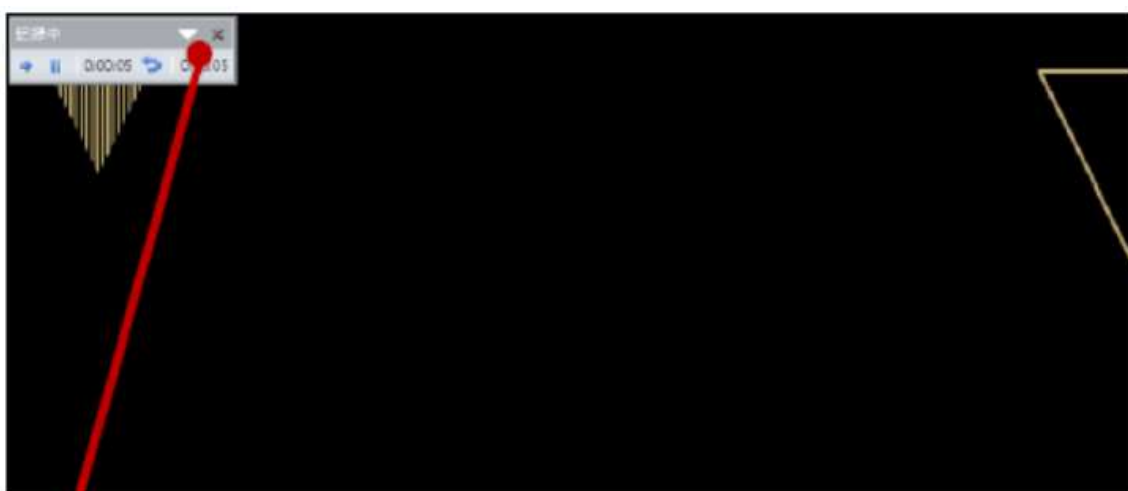
**PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存) します  
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、  
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します**

# PowerPoint2010で録音する方法 ( 3/3 )

- 7 スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、  
取り直したいスライドを選択した状態で  
[現在のスライドから録音を開始]を選択



4と同様の手順で  
進んでください

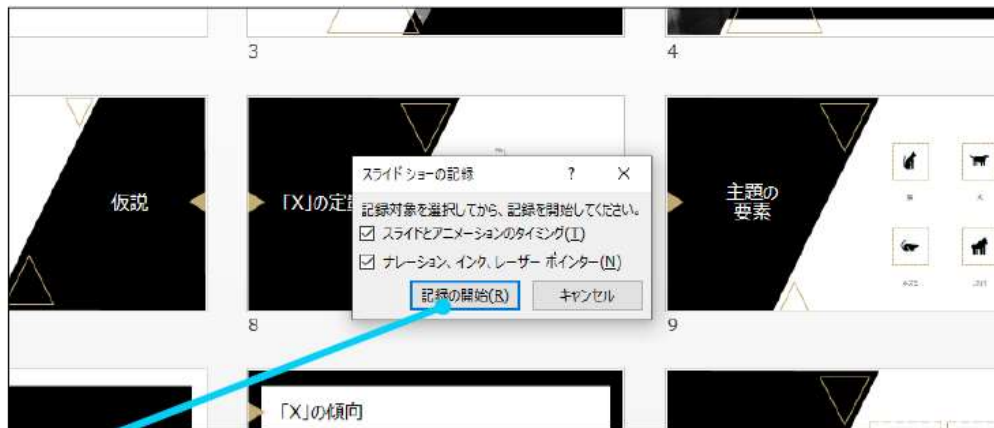


- 8 やり直したいスライドのナレーション録音ができたら  
[ x ] をクリックしてください  
録音開始から終了を押された時点までの音声録音されます



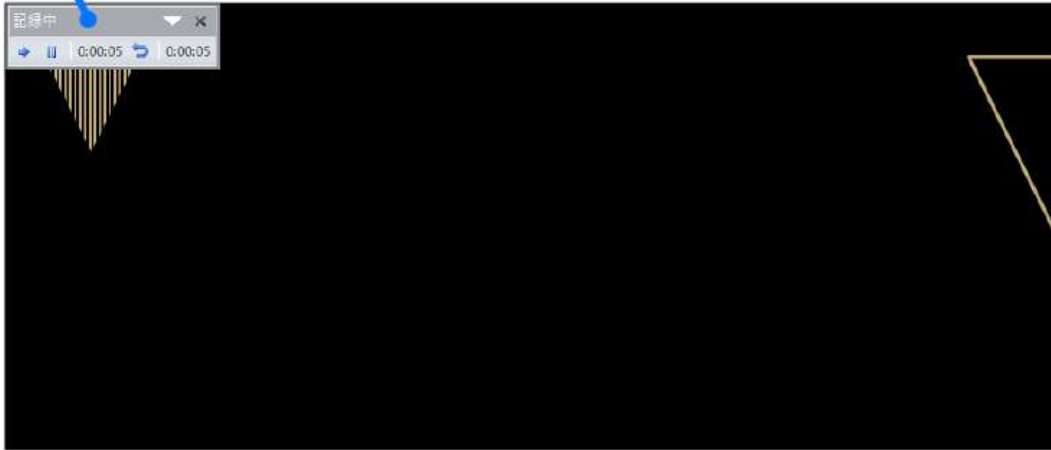
# PowerPoint2013で録音する方法 ( 1/3 )

- ・ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください
- ・マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください



# PowerPoint2013で録音する方法 ( 2/3 )

5 左上の記録中を確認し、  
プレゼンテーションを進める



6 スライドショーを最後まで進めて終了して、  
スライド一覧表示にしてみてください、  
各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します

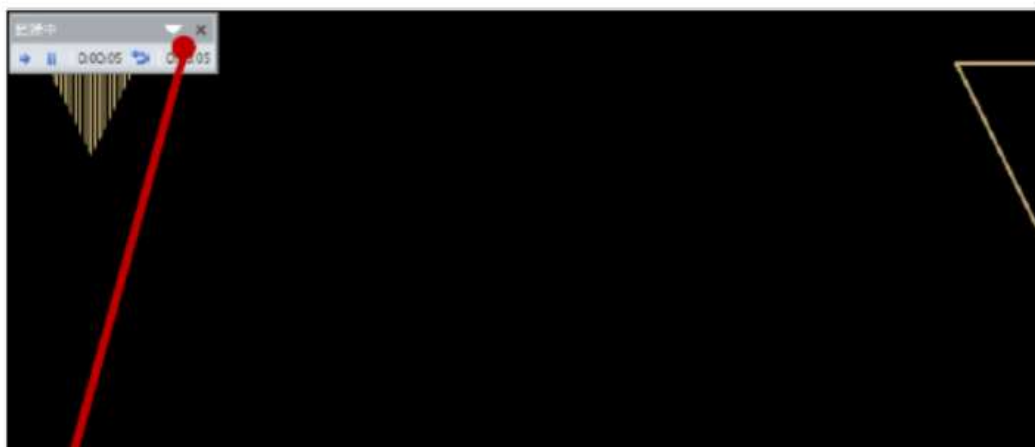
PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)します  
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、  
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します

# PowerPoint2013で録音する方法 ( 3/3 )

- 7 スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、  
取り直したいスライドを選択した状態で  
[現在のスライドから録音を開始]を選択



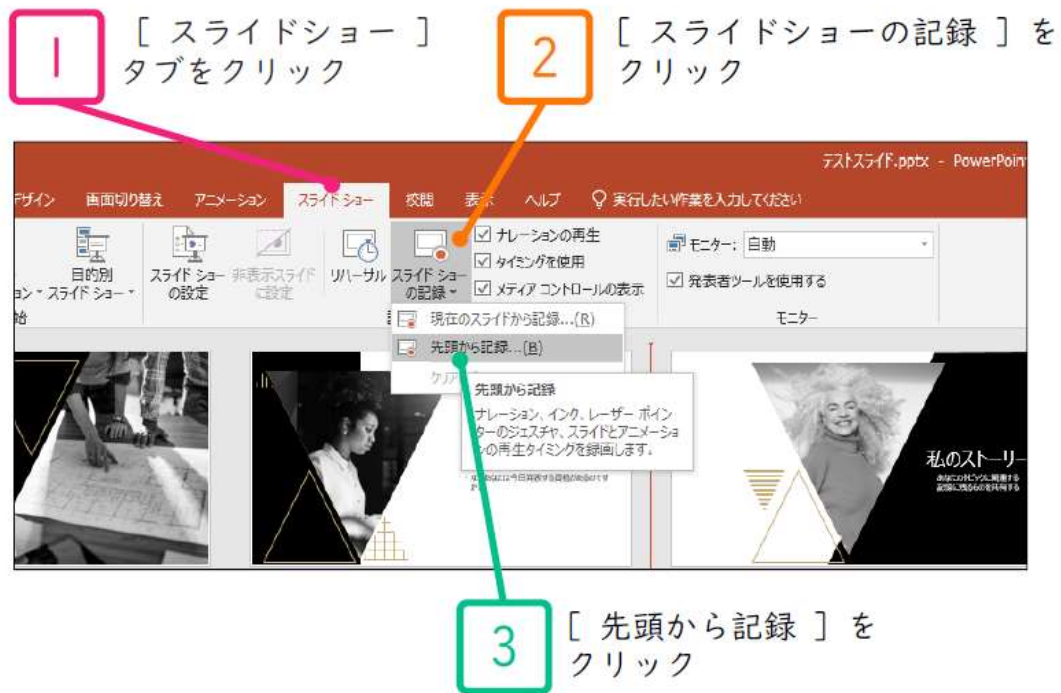
4と同様の手順で  
進んでください



- 8 やり直したいスライドのナレーション録音ができたら  
[ x ] をクリックしてください  
録音開始から終了を押された時点までの音声録音されます

# PowerPoint2016,2019で録音する方法 ( 1/4 )

- ・ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください
- ・マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください



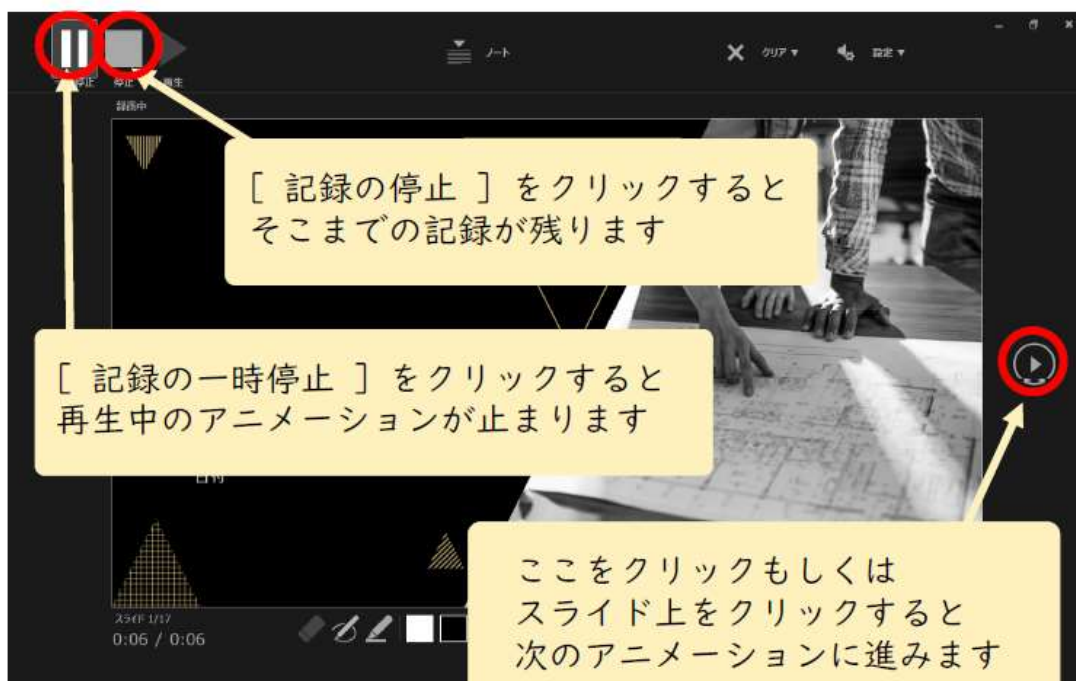
4 [ 記録 ] をクリック



# PowerPoint2016,2019で録音する方法 ( 2/4 )

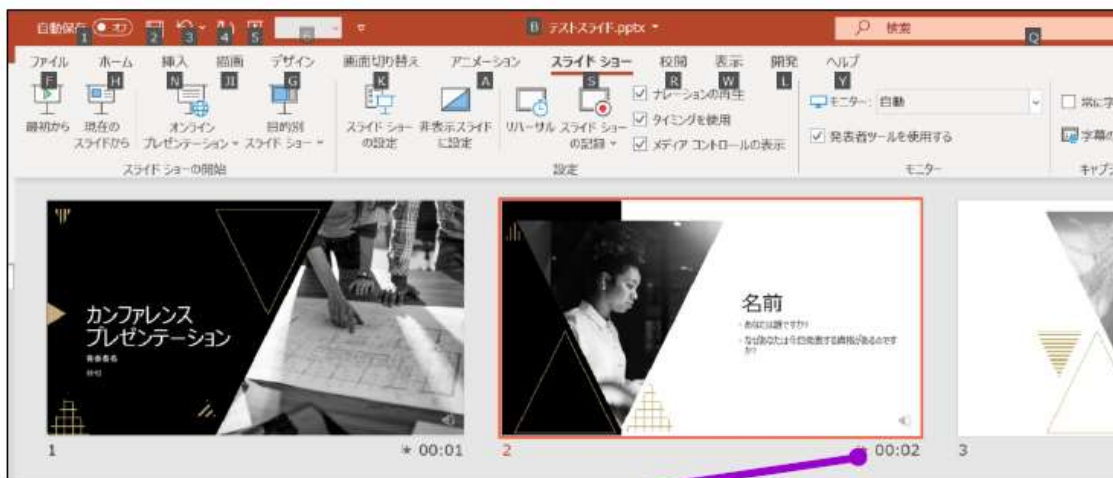
5

マイクに向かってナレーション録音  
スライドも任意のタイミングで進める



最後まで進めると自動的に録画が停止になります  
上の画面まで来て、スライドをもう1枚進めると  
元の画面に戻ります

# PowerPoint2016,2019で録音する方法 ( 3/4 )



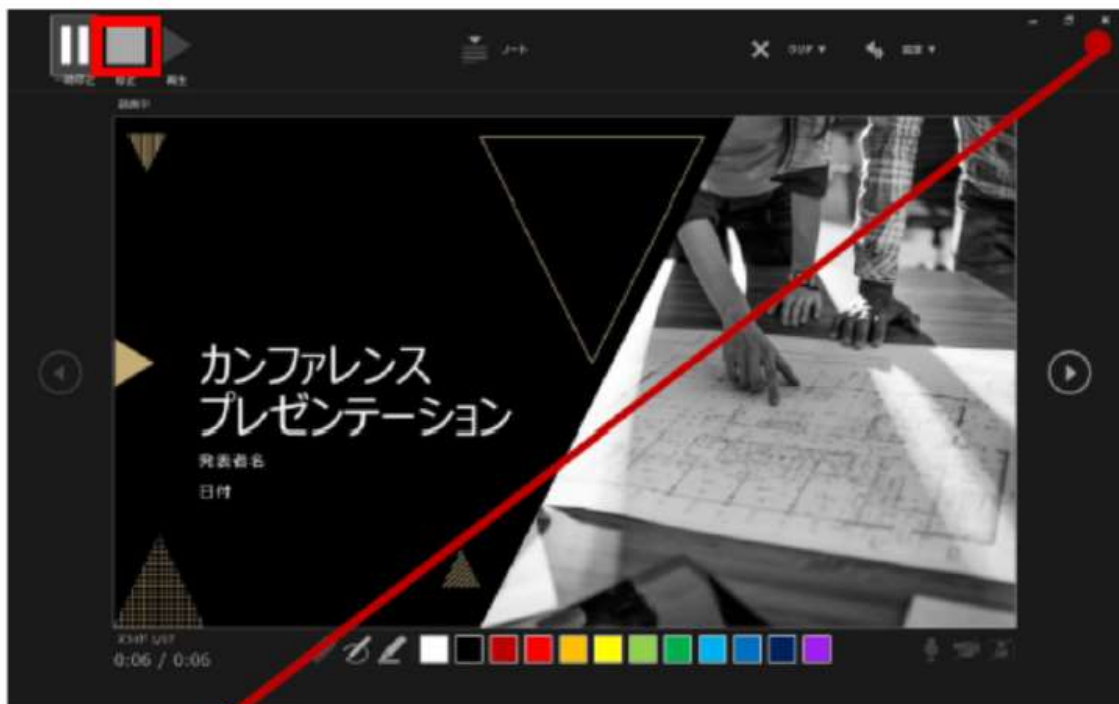
6

スライドショーを最後まで進めて終了して、スライド一覧表示にしてみてください、各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します

PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)します再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します

# PowerPoint2016,2019で録音する方法 ( 4/4 )

- 7 スライドの録音を部分的に取り直したい場合は、  
取り直したいスライドを選択した状態で  
[現在のスライドから記録]を選択



- 8 やり直したいスライドのナレーション録音ができたら  
[ 停止ボタン ] をクリックして、[ x ] をクリックしてく  
ださい  
録音開始から終了を押された時点までの音声録音されます

# PowerPoint for macで録音する方法 ( 1/2 )

- ・ナレーション録音する場合は、あらかじめパソコンとマイク（ヘッドセット等）を接続した状態にしてください
- ・マイクがない場合は、そのままPCの付属マイクを利用ください

- 1 [ スライドショー ] タブをクリック
- 2 [ スライドショーの記録 ] をクリック



- 3 マイクに向かってナレーション録音  
スライドも任意のタイミングで進める





# PowerPoint for macで録音する方法 ( 2/2 )

4

[保存]をクリック



5

スライドショーを最後まで進めて終了して、スライダー一覧表示にしてみてください、各スライドの左下に時間が表示されていることを確認します



PowerPointを保存(新しく名前を付けて保存)します  
再度ファイルを開きスライドショーで確認して、  
音声やスライドのタイミング等問題がないか確認します

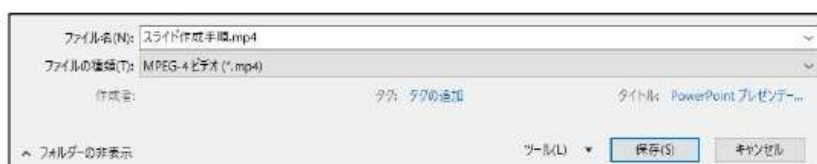
# 動画(MP4)への書き出し方法

- ・ [ファイル] メニューで、[保存] を選び、PowerPointプレゼンテーション形式(.pptx)で保存されていることを確認します
- ・ [ファイル]、[エクスポート]、[ビデオの作成] の順にクリックします（または、リボンの[録音/録画] タブで、[ビデオにエクスポート] をクリックします）



- 1 記録されたタイミングとナレーションを使用する
- 2 [ビデオの作成] をクリック

- ・ [ビデオの作成] 見出しの最初のドロップダウンボックスで、必要なビデオの品質を選びます（フルHD (1080 p) 1920 x 1080以下をご選択ください）
- ・ [ビデオの作成] の下の2番目のドロップダウンボックスで、プレゼンテーションにナレーションとタイミングが含まれているかどうかを確認します  
※タイミング設定を行ったナレーションを記録している場合、既定値は [記録されたタイミングとナレーションを使用する] となります
- ・ [ビデオの作成] をクリックします
- ・ [ファイル名] ボックスに、ビデオのファイル名を入力し、任意のフォルダーを参照してから [保存] をクリックします
- ・ [ファイルの種類] ボックスで、[MPEG-4 ビデオ] を選択します



- 3 [保存] をクリック

**※MP4に変換（エクスポート）したファイルは必ず確認してから登録してください**